

昭和四年五月十五日發行
昆蟲世界第參拾參卷第參百八拾壹號

(自一五四頁
至一五六頁)

別刷

Reprinted from the Insect World Vol. XXXIII, No. 5, (381) pp. 154—156. MAY 15th., 1929

日本產蜉蝣數種

(含二新種)

Four Japanese mayflies, with two new species
by Shinichi Takekoshi.

高橋雄一

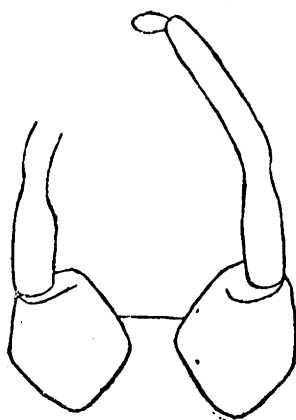
○日本産蜉蝣數種 (含二新種)

高橋 雄 一

一、ち、いろかげろう (新種)

Baetis lacteus. n. sp.

雄の成蟲。(色彩はアルコール漬標本に就きて記載せり。) 頭部及胸部は乳白色なるも黄褐にて汚さる尙胸板の縫線に沿ひて不規則なる褐色を現す。大複眼は赤橙色、基複眼は黒色。觸角の第一關節は乳白色第二關節は褐色、第三關節は白色なり。腹部は白色透明、但し最後の第四關節は乳白色にして淡く赤色を帶ぶ。前翅は前縁少しく青綠色を帶ぶるも他は白色透明、翅脈は黄色なり。後翅は三縱脈を有す。又第二脈と第三脈とにはさまれ外縁に短き二個の間投脈を有す。尾毛は白色にして褐色の環を有す。



ちいろかげろうのうろ子

体長五、八三耗あり、尾毛は一四、一七耗なり。前翅六、一八耗、

後翅は比較的大きく一、一七耗あり。巾廣く前縁の基部にある突起は著しく突出す。觸角の基節は〇、一二耗、中節〇〇九耗、頂

節は〇、七六耗あり。前脚にありては腿節一、一七耗、脛節一、六

九耗、跗節は二、四六耗にして其内第一關節は一、四〇耗、第二關

節は〇、六〇、第三關節は〇、三八、第四關節は〇、一五耗あり。

中脚にては腿節一、一一耗、脛節一、四〇、跗節〇、五六耗にして、

内第一節は〇、一二耗、第二節は〇、一三耗、第三節は〇、〇八耗

第四節は〇、二〇耗あり。後脚は腿節〇、九九耗、脛節一、三四耗、跗節は〇、三五耗にして其内第一節〇、

一二耗、第二節は〇、一二耗、第三節は〇、一二耗、第四節は〇、二〇耗なり。
標本は大正十四年五月十四日香川縣仲多度郡善通寺町摺白山頂にて採集せり。

一、あかめかげろう (新稱)

Baetis nakanensis. n. sp.

雄の成蟲。(記載はアルコール漬標本に就きてなせり。)大複眼黄色(生ける時は鮮明なる橙赤色をなす。)基複眼黑色、頭部は帶褐黄色、腹部第二關節乃至第六關節は白色透明にして各關節の背面の後縁は細く褐色を呈す。腹部第七及八關節は褐色。脚、尾毛及夾子は殆んど白色にして極僅に黄褐色を帶ぶ。

あかめかげろうの夾子



翅は白色透明なるも前翅の前縁は多少琥珀綠色を呈す。後翅は略楕圓形にして二本の縦脈を有し共に末端は前縁に終る。然れ共此後脈の方よりは先端に近く支脈を出す。此支脈は退化して、かすかに脈を現し二つに分れて頂角をはさむ。後翅前縁は突起は著しからず。

体長三、八耗、前翅は三、六七耗、後翅は〇、四六耗あり。觸角の基節及中節は〇、〇八耗にして鞭節は〇、六六耗あり。夾子の基節は〇、一〇耗、第二節は〇、一五耗、頂節は〇、〇二耗あり。脚の跗節は前脚のみは明に四關節よりなるも中後脚は三關節のみ明瞭に現はす。前脚にありては腿節は〇、七四耗、脛節一、〇六耗、跗節は一、〇四耗にして其内基節は〇、三八耗、第二節は〇、三三耗、第三節は〇、二二耗、第四節は〇、一二耗なり。中脚にては腿節〇、五六耗、脛節〇、八〇耗、跗節は〇、二〇耗にして其内第一節は〇、〇七耗、第二節は〇、四〇耗、第三節は〇、一三耗なり。後脚にては腿節〇、五八耗、脛節〇、七三耗、跗節は〇、二二耗ありて其内基節は〇、〇五耗、第二節は〇、〇四耗、第三節は〇、一三耗あり。

記載の標本は東京府下中野に於て大正十一年八月十八日採集せり。
左に本邦産として未記録のものを二三記載せんとす。

1、*Baetis scambus* Eaton.

採集地。山梨縣鹽山(大正十一年八月廿四日)

長野縣長野市(大正十一年八月廿七日)

1、*Baetis venustulus* Eaton.

採集地。熊本市(大正十三年六月廿九日)

群馬縣館村(昭和二年七月十九日)

1、*Baetis atrebatinus* Eaton.

採集地。京都府綾部(大正十四年八月三日)

1、*Cranix dimidiata* Stephens.

採集地。香川縣善通寺町(大正十五年五月十九日)

和歌山縣推出(昭和二年七月廿四日)

最後に予の既に動物學雜誌に記載せし *Oleon maikonis* Tak. を *Pseudoleon maikonis* とする方可なる
様に考へらるゝを以て此處に訂正す。(終り)